

牛乳を飲もう 第4回大山町乳牛共進会



▲1～6部の主席に輝いた皆さん

第4回大山町乳牛共進会が4月13日、桜咲く萩原公園で開かれました。
生産者が大切に育てた乳牛51頭が6部門で優劣を競い、経産牛の部のグラントチャンピオン『町長賞』に佐藤俊彦さん（萩原）のシュガー シンクロ ストマティック ヴィダール サスーン号、未經産牛の部のグラントチャンピオン『議長賞』に菅原大介さん（さざんか台団地）のアプレゲール ダイゼン テラサイド テララ号がそれぞれの賞に輝きました。
また、大山町補助事業（優良乳牛精液導入事業）での産子も多数出品されていました。
1頭あたりの乳量生産の拡大、優良乳牛への改良を目指すための年1回の共進会であり、大山町酪農組合のますますの発展に期待が寄せられました。

千葉県産に負けないおいしさ 大山ピーナッツ試食会



▲「大山ピーナッツ」を試食をする真島組合長（右）と山口町長。製品は殻付き、むき実、しょうゆ味、と地元のみそを使ったみそ味の4種類を試す。

大山町では、平成20年からピーナッツの試験栽培に取り組み、産地化を目指しています。3月18日、試験栽培1年目で収穫された「大山ピーナッツ」の製品の試食会が役場本庁で開かれ、生産組合や加工・製造業者ら関係者が千葉県産ピーナッツとの食べ比べを行いました。
真島國博組合長は「つぶも大きく、色合いも味も良い。2年目の今年は生産農家が21戸に増え、作付け面積は倍になります。さらに自信を持って取り組んでいきたいです」と話しています。
製品は4月4日にオープンした道の駅「大山恵みの里」で早速販売しています。

町内での消費拡大に一役 プレミアム商品券 第2弾



▲これを契機とした町内経済の活性化が期待されます（販売初日の商工会本所の様子）

大山町商工会は4月6日、年末に取り組んで好評だったお買い物券事業の第2弾として、2割のプレミアム付き「定額給付金地域還元特別お買い物券」を総額1億2千万円分発行し、1週間で完売しました。前回と比べて利用できる店舗が87カ所から157カ所に増え、農協のAコープや給油所、資材購入にも使えるとあって、売り場の商工会や町役場では初日に販売開始を待つ町民の長い列ができました。
商工会では「半年間の期限付きなので、手元に残ることがないよう早めに利用してほしい」と呼びかけています。